

# 平成29年度事業報告書

奈良経済同友会

## I 概括

平成29年度のわが国経済は、アベノミクスの推進により、雇用・所得環境の改善が続く中、緩やかに回復した。海外経済が回復する下で、輸出や生産の持ち直しが続くとともに個人消費及び民間設備投資が持ち直すなど民需が改善し、経済の好循環がみられた。

一方、中小・小規模中心の県内産業は、個人消費がやや持ち直したものの、設備投資が盛り上がり、原材料価格の上昇、人手不足が顕著になるなど全国よりもやや厳しい経済・経営環境となった。

このような中、当会は、例会活動において、企業経営者、大学経営者、コンサルタント、水族館アドバイザーなど多彩な講師による講演、造幣局(大阪市)やウイスキー工場や美術館(京都府大山崎町)への出張視察見学、忘年会での講談鑑賞、新年名刺交換会、恒例の奈良女子大学との産学連携など多岐にわたるテーマで見聞を広めるとともに、多くの参加者のもと、懇親会もあわせて開催し交流を深めた。

8月以降、地域活性化を目指して「企業活性化委員会」および「観光活性化委員会」を、当会が平成30年度に創立70周年を迎えることを記念して「創立70周年記念事業実行委員会」を立ち上げ新しい委員会活動を開始した。また、恒例の年頭所感では、「奈良県の地域活性化ソリューションに取り組む」を提言活動目標とし、そのための2つの着眼点として「企業活性化のための視点」及び「観光活性化のための視点」を挙げ、奈良県活性化策について提言をまとめ年初に発表した。

一方、フォーラムでは、「空の産業革命を起こすドローンテクノロジー」「船旅の薦め」で見識を広めるとともに、米国・サンフランシスコへの視察研修、ゴルフ親睦会などで交流・懇親を深めた。また、会員の積極的な紹介を通じて会員増強にも努め、魅力ある同友会活動を推進した。

対外交流活動では、6 経済同友会代表幹事懇談会(大阪市)、第30回全国経済同友会セミナー(仙台市)、第115回西日本経済同友会会員合同懇談会(大津市)、第4回西日本経済同友会代表者会議(大阪市)、全国経済同友会代表幹事円卓会議(熊本市)などへの参加を通じて、県外経済同友会会員、代表幹事等との交流を深めた。また、関係経済諸団体と連携してリニア中央新幹線の名古屋以西の早期開業、京奈和自動車道の整備促進など積極的に推進した。

以上のとおり、本年度の当会は、多くの参加者と多彩なテーマの下、自主・自立の精神で、経営者が自らなすべきことを考え、実践的・具体的に議論し、志の高い政策集団として、地に着いた活動を展開した。

## II 会合日誌

### 1. 総会

◎5月8日

於 奈良商工会議所会館

#### 1. 議題

- ①平成28年度事業報告並びに収支決算報告について
- ②平成29年度事業計画(案)並びに同収支予算(案)について
- ③委員会立ち上げについて
- ④その他
  - ・特別会員の委嘱について
  - ・地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)との連携について
  - ・「(仮称)JR奈良まほろば回遊ループライン」JR西日本への運行要請について

出席者 85名

1. 記念特別講演 於 奈良商工会議所

講師 ポストンコンサルティンググループ  
シニア・パートナー&マネージング・ディレクター

御立 尚資 氏

テーマ 「観光立国と地方創生」

出席者 81名

1. 会員懇親会 於 大和路

出席者 65名

## 2. 特別幹事・正副代表幹事会

- ◎3月9日 於 奈良商工会議所

### 1. 議題

- ①平成29年度収支決算（着地見込み）
- ②平成30年度事業計画（案）、収支予算（案）
- ③役員改選について
- ④規約等の変更（入会者承認方法の変更ほか）
- ⑤委員会活動について
  - ・企業活性化委員会
  - ・観光活性化委員会
- ⑥今後の予定について
  - ・海外視察研修（シンガポール・マレーシア）
    - ・創立70周年記念大会
    - ・平成30年度通常総会
  - ・月例会ほか
- ⑦その他

1. 出席者 10名

## 3. 幹事会

- ◎4月14日 於 経済会館（奈良県経済倶楽部）

### 1. 議題

- ①平成28年度事業報告並びに収支決算報告について
- ②平成29年度事業計画（案）並びに収支予算（案）について
- ③委員会立ち上げについて
- ④特別会員の委嘱について
- ⑤その他
  - ・地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)との連携について
  - ・「(仮称)JR奈良まほろば回遊ループライン」JR西日本への運行要請について
  - ・今後の予定について

1. 出席者 22名

## 4. 会計監査

- ◎4月7日 於 奈良経済同友会事務所

1. 出席者 2名

- ◎4月10日 於 三和住宅会議室  
1. 出席者 2名

## 5. 例会

- ◎4月27日 (視察・見学)  
1. 見学先 独立法人 造幣局(大阪市)  
造幣局の概要説明  
造幣博物館及び工場の見学  
1. 出席者 40名

- ◎6月26日 於 奈良ロイヤルホテル  
1. テーマ 「知と汗と涙の近大流コミュニケーション戦略」  
1. 講師 近畿大学 総務部長 世耕 石弘 氏  
1. 出席者 80名

- ◎7月18日 於 春日ホテル  
1. テーマ 「元気溢れる関西を目指して」  
1. 講師 一般社団法人 関西経済同友会 代表幹事 鈴木 博之 氏  
(丸一鋼管株式会社 代表取締役会長兼CEO)  
1. 参加者 66名

- ◎8月5日 (特別例会) 於 淀川河川敷  
1. 観覧 淀川花火大会 観覧ツアー  
1. 出席者 20名

- ◎9月27日 (視察・見学)  
1. 見学先 サントリー山崎蒸留所  
アサヒビール大山崎山荘美術館  
聴竹居  
1. 出席者 26名

- ◎10月16日 於 奈良商工会議所5階大ホール  
1. テーマ 「これからの工作機械と製造業」  
1. 講師 DMG森精機株式会社 代表取締役社長 森 雅彦 氏  
1. 出席者 83名

- ◎11月22日 於 奈良ロイヤルホテル  
1. テーマ 「弱点で進化を起こす」  
～常識を外して集客を成功させる～  
1. 講師 水族館プロデューサー 中村 元 氏  
1. 出席者 62名

- ◎12月13日 (講談鑑賞と忘年会) 於 ホテル日航奈良  
1 演目 「義経と静御前の吉野落ち」  
1. 講師 講談師 旭堂 南海 氏  
1. 出席者 61名

◎1月23日 (奈良女子大学との講演会、交流・懇親会) 於 奈良女子大学

○奈良女子大学 (講演)

「奈良女子大学の最新の研究シーズについて」

テーマ：「“吸収性”シルク縫合糸の開発」

講師：奈良女子大学 研究院生活環境科学系 助教 橋本 朋子 氏

テーマ：「安全安心なIoT社会を構築するLCCAネットワーク構想」

講師：奈良女子大学 研究院生活環境科学系 教授 松本 尚 氏

テーマ：「特定金属イオンに対する蛍光センサーの設計」

～高選択的プローブ開発のための分子技術～

講師：奈良女子大学 研究院自然科学系 教授 三方 裕司 氏

○奈良経済同友会 (講演)

テーマ：「やわらか食“そふまる”の誕生について」

講師：名阪食品株式会社 代表取締役社長 清水 克能 氏

懇親会 於 奈良女子大学 大学ラウンジ

1. 出席者 77名 (当会 54名)

◎2月13日 於 奈良商工会議所会館会議室

1. テーマ 「菓子博・伊勢・赤福のこと」

1. 講師 株式会社 赤福 顧問 濱田 典保 氏

1. 出席者 64名

◎3月22日 於 ホテル日航奈良

1. テーマ 「日本の食はエシカルを目指す」

1. 講師 株式会社 グッドテーブルズ  
代表取締役社長 山本 謙治 氏

1. 出席者 64名

## 6. 経済講演会

(奈良商工会議所、奈良商工会議所友好倶楽部、奈良経済同友会 共催)

◎3月9日 於 奈良商工会議所会館大ホール

1. テーマ 「関西経済の展望」

1. 講師 日本銀行 理事 大阪支店長 衛藤 公洋 氏

1. 出席者 90名 (当会60名)

## 7. 合同新年記者会見

(奈良商工会議所、奈良経済産業協会、奈良経済同友会 共催)

◎1月9日 於 ホテル日航奈良

1. 出席者 20名

## 8. 合同新年名刺交換会

(奈良商工会議所、奈良経済産業協会、奈良県経済倶楽部、奈良商工会議所友好倶楽部、

奈良経済同友会 共催)

- ◎1月9日 於 ホテル日航奈良  
1. 出席者 約800名

## 9. フォーラム

◎11月10日 於 ホテル日航奈良

1. テーマ 「空の産業革命を起こすドローンテクノロジー」  
～空飛ぶIoTデバイスが切り拓く新たなITフロンティア～

1. 講師 トライポッドワークス株式会社  
代表取締役社長 佐々木 賢一 氏

1. 出席者 50名

◎1月27日 於 ザ・ヒルトップテラス奈良

1. テーマ 「フルムーン 豊穡の時をパートナーと共に」  
～じっくり話ができる船旅のお薦め～

1. 講師 武藤 弘之 氏 プランニング610

1. 出席者 52名

## 10. 平成30年年頭所感起草委員会

◎10月18日(第1回) 於 奈良県経済倶楽部4階会議室

1. 議題  
①平成30年年頭所感提言テーマの候補について  
②その他

1. 出席者 14名

◎11月22日(第2回) 於 奈良ロイヤルホテル

1. 議題  
①平成30年年頭所感提言テーマの絞り込み、決定

1. 出席者 13名

◎12月13日(第3回) 於 ホテル日航奈良

1. 議題  
①年頭所感(案)を基に最終案討議、決定

1. 出席者 13名

## 11. 委員会活動

◎第1回合同委員会：8月8日 於 奈良県経済倶楽部

1. ①地域活性化委員会と創立70周年記念事業実行委員会を立ち上げ、各委員会開催  
第1回：域活性化委員会 出席者 26名  
・地域活性化委員会を企業活性化委員会と観光活性化委員会に分科  
第1回：創立70周年記念事業実行委員会 出席者 15名  
・創立70周年の式典計画について話し合い

◎企業活性化委員会

1. 第1回：9月7日 出席者 20名 於 奈良県経済倶楽部  
1. 第2回：11月13日 出席者 20名 於 奈良県経済倶楽部

1. 第3回： 1月23日 出席者 15名 於 奈良県経済倶楽部  
 1. 第4回： 3月15日 出席者 14名 於 奈良県経済倶楽部

◎観光活性化委員会

1. 第1回： 9月19日 出席者 17名 於 奈良商工会議所会議室  
 1. 第2回： 11月13日 出席者 21名 於 奈良県経済倶楽部  
 1. 第3回： 1月23日 出席者 19名 於 奈良県経済倶楽部  
 1. 第4回： 3月15日 出席者 13名 於 奈良県経済倶楽部

◎創立70周年記念事業実行委員会

1. 第2回： 9月 4日 出席者 18名 於 奈良県経済倶楽部  
 1. 第3回： 10月23日 出席者 19名 於 奈良県経済倶楽部  
 1. 第4回： 12月 7日 出席者 13名 於 奈良県経済倶楽部  
 1. 第5回： 2月 7日 出席者 22名 於 奈良県経済倶楽部  
 1. 第6回： 3月 9日 出席者 19名 於 奈良県経済倶楽部

12. 海外視察研修（米国サンフランシスコ）

1. と き 5月16日～21日

1. 視察研修

- ・ Runway Incubator 訪問・見学及び日本領事館、ジェトロのレクチャー
- ・ スタンフォード大学見学及びアジア太平洋研・櫛田氏レクチャー
- ・ Googl 見学
- ・ Plug&Play 見学
- ・ マツイ・ナーサリー訪問・見学
- ・ KENZO ESTATE ツアー・見学
- ・ ユニオンバンク博物館見学

ほか

1. 参加者 26名

13. ゴルフ親睦会

◎6月26日

於 飛鳥カンツリー倶楽部

1. 出席者 25名

◎11月11日

於 グランデージゴルフ倶楽部

1. 出席者 25名

14. 「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」（奈良女子大学、奈良工業高等専門学校、奈良県立大学）への参画

◎4月14日

1. 同友会：COC+連携のつどい

参加3大学からの「(知)の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」の説明会

1. 出席者 35名

◎2月19日・20日

1. 3校合同 県内企業見学会

・訪問先 DMG森精機(株)、三和澱粉工業(株)、(株)イムラ封筒、佐藤薬品工業(株)、

大光宣伝(株)、小山(株)、(株)大和農園ホールディングス、岡村印刷工業(株)

1. 参加者 33名(19日)、29名(20日)

#### 15. 6経済同友会代表幹事懇談会

◎4月6日

於 ザ・リッツ・カールトン大阪

会議次第

##### 1. 議題

① I R・万博の大阪・関西への誘致について

② 第115回「西日本経済同友会会員合同懇談会」開催について

1. 出席者 16名(当会 3名)

#### 16. 京滋奈三・広域交流圏研究会連絡会議

(5府県市(京都府、滋賀県、奈良県、三重県、京都市)、6経済団体(京都・大阪・奈良 3商工会議所、京都・滋賀・奈良3経済同友会共催))

◎1月30日

会議次第

##### 1. 議題

①意見交換会

於 町家古武

・平成28年度の事業報告と収支報告

・平成29年度の事業計画と収支予算

・平成30年度以降の活動について

・京都府の地方創生の取り組みについて

京都府政策企画部戦略企画課

副課長 吉田 宏則 氏

②現地視察

・西陣界限

・京都鉄道博物館

1. 出席者 11名(当会 1名)

#### 17. リニア中央新幹線建設促進奈良県経済団体協議会共催事業

奈良県商工会議所連合会、奈良県商工会連合会、奈良県中小企業団体中央会、奈良経済産業協会、奈良県経済倶楽部、奈良県銀行協会、奈良青年会議所、奈良経済同友会、奈良市観光協会、奈良県ビクターズビューロー、奈良県バス協会、奈良県タクシー協会

◎7月12日

於 奈良商工会議所会館会議室

<リニア中央新幹線建設促進奈良県経済団体協議会・理事会>

##### 1. 議事

(1) 平成28年度事業報告及び同収支決算報告について

(2) 平成29年度事業計画(案)および同収支予算(案)について

(3) その他

##### 1. 講演会

テーマ 「リニア中央新幹線の現状について」

講師 奈良県県土マネジメント部 地域交通課

課長補佐 福井 靖典 氏

1. 出席者 17名



## 18. 京奈和自動車道建設促進関連

◎7月6日

於 奈良商工会議所会館会議室

<京奈和自動車道建設促進奈良県民会議・理事会>

### 1. 議事

総会に付議すべき事項について

#### 1. 出席者 17名

◎10月30日

於 奈良ロイヤルホテル

<奈良県の道路と都市公園整備の充実を求める合同県民大会>

### 1. 主な次第

#### ①意見発表

・道路関係

・公園関係

#### ②要望朗読

#### 1. 出席者 約200名

## 19. 全国経済同友会セミナー

<第30回>

◎4月20日～21日

於 仙台国際センター

<4月20日>

大会次第

#### 1. テーマ 新たな創造のシナリオ ～復興・地方創生へ向けて～

#### 1. 基調講演

テーマ 「次世代情報技術と産業変革」  
～日本企業がAI（拡張知能）で攻める時～

講師 久世 和資 氏

日本アイ・ビー・エム株式会社 執行役員 最高技術責任者（CTO）

#### 1. 分科会討議

①大震災の教訓 ～防災・減災施策の向上策～

②技術革新の衝撃 ～AI（人工知能）、IoT、ビッグデータは企業・社会をどう変えるか～

③新産業革命による労働市場のパラダイムシフトへの対応

④エネルギー・環境イノベーション創出による持続可能な社会の構築

⑤インバウンドと総合観光戦略

#### 1. 懇親パーティー

<4月21日>

#### 1. 分科会報告

1. 総括挨拶 小林 喜光 氏 (公社) 経済同友会 代表幹事  
(株) 三菱ケミカルホールディングス 会長

#### 1. 特別講演

テーマ：「毎日が小さな修行」

講師：塩沼 亮潤 氏 慈眼寺住職 大阿闍梨

1. 閉会挨拶 一力 雅彦 氏 仙台経済同友会 代表幹事  
(株) 河北新報社 社長

1. 出席者 1, 217名 (当会 13名)

<エクスカーション>

- ・日本三景松島ハイライトコース  
(4月20日午後・半日)
- ・被災からの復興・石巻コース  
(4月21日午後・半日)
- ・被災からの復興・東松島コース  
(4月21日午後・半日)
- ・被災からの復興・仙台食の復興コース  
(4月21日午後・半日)
- ・被災からの復興・閑上コース  
(4月21日午後・半日)
- ・世界遺産平泉と三陸被災地からの教訓  
(4月21日～22日・1泊2日)
- ・仙台おもてなしの旅ハイライト  
(4月21日～22日・1泊2日)
- ・「表蔵王国際ゴルフクラブ」親睦ゴルフ大会  
(4月22日)

20. 第115回西日本経済同友会会員合同懇談会

◎10月13日～14日

於 びわ湖大津プリンスホテル

- 1. 懇談会 会場：びわ湖大津プリンスホテル
- 1. テーマ 持続可能な社会をつくる「三方よし」企業経営  
～未来につなぐ近江商人のDNA～
- 1. オープニング 映像とヨシ笛が奏でるびわ湖の音色
- 1. 基調講演  
テーマ 「企業経営における近江商人三方よし理念」  
講師 小林 栄三 氏 (伊藤忠商事 会長)
- 1. パネルディスカッション  
テーマ 「近江商人サミット」～未来をつくる企業リーダー～  
パネリスト： 小林 栄三 氏 (伊藤忠商事 会長)  
西川 八一行 氏 (西川産業 社長)  
山本 昌仁 氏 (たねや 社長)  
ファシリテーター： 北 幸二 氏 (滋賀経済同友会 代表幹事)  
コーディネーター： 中井 美穂 氏 (フリーアナウンサー)
- 1. 懇親パーティー 会場：びわ湖大津プリンスホテル
- 1. ウェルカムアトラクション：「びわ湖ホール声楽アンサンブル」
- 1. 黄昏クルーズ 大型遊覧船でびわ湖と花火の遊覧
- 1. 出席者 約700名 (うち当会 17名)

<エクスカーション>

- 同伴者半日コース (信楽コース)：信楽方面で歴史と文化を楽しむ
- ナイトコース (懇親パーティー終了後)：トップオブオオツで過ごす JAZZ TIME
- Aコース (日帰りコース)：びわ湖と祈りと歴史を訪ねて
- Bコース (日帰りコース)：近江商人を訪ねて

Cコース（ゴルフコース）：親睦ゴルフコンペ 於 ジャパンエースゴルフ倶楽部

## 21. 第4回西日本経済同友会代表者会議

◎7月14日

於 ホテル日航大阪

○視察

- ・夢洲埋立地（万博、IR予定地）
- ・咲洲庁舎展望台からベイエリア展望

○代表者会議

次第

1. テーマ 「インバウンド4,000万人時代、『観光立国』日本の課題  
～地域の持続的な発展と担い手のあり方～」
1. 討議 ①地域を潤す観光コンテンツの創出と担い手  
～DMOの現状と課題～
  - ◆溝畑 宏 大阪観光局理事長による問題提起
  - ◆各地同友会からの事例発表（広島、島根）
  - ◆自由討議
1. 討議 ②観光サービスの供給制約の打破  
～部分最適から全体最適へ～
  - ◆溝畑 宏 大阪観光局理事長による問題提起
  - ◆自由討議
  - ◆総括
    - ・共同アピールに向けた論点整理
    - ・各論点について意見交換
1. 共同アピールの採択
1. 事務連絡
  - ・第115回西日本経済同友会会員合同懇談会 案内（滋賀）
1. 懇親パーティー  
出席者 65名（当会 3名）

## 22. 諸会議出席

※2017年度全国経済同友会事務局長会議

と き 9月7日～8日

ところ 志摩観光ホテル ザ クラシック（三重県志摩市）

出席者 井阪英夫事務局長

※西日本経済同友会代表幹事会

と き 10月13日

ところ びわ湖大津プリンスホテル（大津市）

出席者 山本太治代表幹事、北義彦代表幹事、井阪英夫事務局長

※全国経済同友会代表幹事円卓会議

と き 12月4日

ところ 熊本ホテルキャッスル（熊本市）

出席者 山本太治代表幹事、北義彦代表幹事、井阪英夫事務局長

### Ⅲ 会勢

#### 1. 平成29年度役員・委員会委員

##### <平成29年度役員名簿>

代表幹事	山本 太治	(株)三輪山本	取締役社長
代表幹事	北 義彦	(株)南都銀行	取締役専務執行役員
特別幹事	福本 良平	(株)福本設計	代表取締役会長
特別幹事	篤川 安雄	(一財)南都経済研究所	理事長
特別幹事	山田 善久	大光宣伝(株)	取締役社長
副代表幹事	石井 昌子	東洋精密工業(株)	取締役会長
副代表幹事	田中 郁子	(株)柿の葉すし本舗たなか	取締役会長
副代表幹事	脇本 吉清	ワキ製薬(株)	代表取締役会長
副代表幹事	吉田 裕	(株)大和農園ホールディングス	代表取締役社長
副代表幹事	井村 守宏	(株)イムラ封筒	取締役会長
幹事	朝廣 佳子	(株)読売奈良ライフ	取締役社長
幹事	乾 昌弘	(株)明新社	取締役社長
幹事	植嶋 修治	(株)植嶋	取締役社長
幹事	上田 昌平	(株)レナ	代表取締役
幹事	植田 英寛	(株)中和商事	取締役社長
幹事	卜部 能尚	ウラベ木材工業	代表者
幹事	太田 嗣郎	三和ゴム工業(株)	取締役社長
幹事	角谷 守啓	奈良交通(株)	専務取締役
幹事	菊池 攻	奈良トヨタ自動車(株)	取締役社長
幹事	黒田 浩之	黒田会計事務所	所長
幹事	小西 恵美	(株)丸和不動産	取締役社長
幹事	小山 新造	小山(株)	取締役社長
幹事	近東 宏佳	共同精版印刷(株)	取締役社長
幹事	佐藤 典嗣	佐藤木材(株)	取締役社長
幹事	谷奥 忠嗣	谷一木材(株)	取締役社長
幹事	谷野 守弘	奈良中央信用金庫	専務理事
幹事	田村 健吉	南都ビジネスサービス(株)	代表取締役社長
幹事	辻 将央	大峰堂薬品工業(株)	取締役社長
幹事	出口 悦弘	ディライト(株)	取締役会長
幹事	鐵東 敦史	(株)エヌ・アイ・プランニング	代表取締役
幹事	豊澤 安男	奈良豊澤酒造(株)	代表取締役会長
幹事	中尾 七隆	(株)中尾組	専務取締役
幹事	中村 光良	中村建設(株)	取締役社長
幹事	萩原 斗志弘	(株)萩原農場生産研究所	専務取締役
幹事	畠山 晴衣	(株)サロンまき	取締役社長
幹事	林田 壽昭	三笠産業(株)	取締役社長
幹事	平山 文堂	ダイワ精密プレス(株)	代表取締役社長
幹事	藤田 寿美子	学校法人ハルナ学園	理事長
幹事	真柴 幸雄	ダイシン化工(株)	代表取締役
幹事	松本 喜久子	(福)白鳳会西大和保育園	理事長・園長
幹事	水谷 豊	(株)あかしや	取締役社長
幹事	森川 善隆	大和信用金庫	理事長
幹事	森 雅彦	DMG森精機(株)	取締役社長
幹事	森田 康宏	ディテック(株)	代表取締役会長
幹事	森本 俊一	三和澱粉工業(株)	代表取締役会長

幹事	吉田明史	(株)花の大和	取締役社長
幹事	吉田浩巳	(公社)まちづくり国際交流センター	理事長
監事	小林茂樹	三和住宅(株)	代表取締役会長
監事	森田務	税理士法人森田会計事務所	代表社員

<平成30年年頭所感起草委員会委員名簿>

◎山本太治	(株)三輪山本	取締役社長
◎北義彦	(株)南都銀行	取締役専務執行役員
嶋川安雄	(一財)南都経済研究所	理事長
石井昌	東洋精密工業(株)	代表取締役会長
田中郁子	柿の葉すし本舗たなか	取締役会長
脇本吉清	ワキ製薬(株)	代表取締役会長
吉田裕	(株)大和農園ホールディングス	取締役社長
井村守宏	(株)イムラ封筒	取締役会長
上田昌平	(株)レナ	代表取締役
尾原謙治	(株)近鉄百貨店	常務執行役員店長
角谷守啓	奈良交通(株)	専務取締役
川井喜樹	奈良信用金庫	理事長
小林茂樹	三和住宅(株)	代表取締役会長
近東宏佳	共同精版印刷(株)	取締役社長
佐藤典嗣	佐藤木材(株)	取締役社長
谷奥忠嗣	谷一木材(株)	代表取締役
谷野守弘	奈良中央信用金庫	専務理事
津秦幸生	ホテル日航奈良	総支配人
出口悦弘	ディライト(株)	取締役会長
鐵東敦史	(株)エヌ・アイ・プランニング	代表取締役
中村光良	中村建設(株)	取締役社長
吉田浩巳	(公社)まちづくり国際交流センター	理事長

◎印は代表幹事

<企業活性化委員会名簿>

我妻詔子	(株)我妻運輸	取締役副社長
市岡武	村本建設(株)	取締役常務執行役員
◎井村守宏	(株)イムラ封筒	取締役会長
大江隆	三井住友信託銀行(株)	奈良西大寺支店長
大野昇	西日本電信電話(株)	奈良支店長
岡村匡倫	岡村印刷工業(株)	取締役副社長
北義彦	(株)南都銀行	取締役専務執行役員
黒田浩之	黒田会計事務所	所長
齊藤正幸	(医)新生会総合病院高の原中央病院	理事長
嶋川安雄	(一財)南都経済研究所	理事長
高橋直嗣	(株)鶴屋徳満	代表取締役社長
谷奥忠嗣	谷一木材(株)	代表取締役
○谷野守弘	奈良中央信用金庫	専務理事
豊澤安男	奈良豊澤酒造(株)	代表取締役会長
中村光良	中村建設(株)	代表取締役社長
萩本敦士	(株)三菱東京UFJ銀行	奈良支店長

嶋山晴衣	(株)サロン まき	代表取締役
福本良平	(株)福本設計	代表取締役会長
富宅勲	FK不動産(株)	代表取締役
松谷幸和	奈良県信用保証協会	会長
森田晃弘	(株)ドコモCS関西	奈良支店長
山田善久	大光宣伝(株)	代表取締役社長
山本太治	(株)三輪山本	取締役社長
吉田裕	(株)大和農園ホールディングス	取締役社長
吉田浩巳	(公社)まちづくり国際交流センター	理事長
脇本吉清	ワキ製菓(株)	代表取締役会長

◎印は委員長 ○は副委員長

<観光活性化委員会名簿>

青木博美	DMG森精機(株) 総務部	奈良福祉厚生グループ長
板床俊祐	野村證券(株)	奈良支店長
市岡武	村本建設(株)	取締役常務執行役員
井上富重	大和ハウス工業(株)	奈良支店長
◎井村守宏	(株)イムラ封筒	取締役会長
上田昌平	(株)レナ	代表取締役
大野昇	西日本電信電話(株)	奈良支店長
岡村匡倫	岡村印刷工業(株)	取締役副社長
角谷守啓	奈良交通(株)	専務取締役
釜直久	東京海上日動火災保険(株)	奈良支店長
川井喜樹	奈良信用金庫	理事長
北義彦	(株)南都銀行	取締役専務執行役員
柴田義太郎	(株)柴田衣料店	取締役社長
寫川安雄	(一財)南都経済研究所	理事長
高崎栄一	(株)三井住友銀行	奈良法人営業部長
高橋直嗣	(株)鶴屋徳満	代表取締役社長
竹内一順	SMBC 日興証券(株)	奈良支店長
津秦幸生	ホテル日航奈良	総支配人
中村光良	中村建設(株)	代表取締役社長
嶋山晴衣	(株)サロン まき	代表取締役
早坂政仁	三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株)	奈良支店長
松嶋秀樹	税理士法人アシスト	代表社員
水谷豊	(株)あかしや	取締役社長
宮崎好弘	(株)奈良ホテル	代表取締役社長
山浦克久	みずほ証券(株)	奈良支長
山本太治	(株)三輪山本	取締役社長
吉田裕	(株)大和農園ホールディングス	取締役社長
○吉田浩巳	(公社)まちづくり国際交流センター	理事長

◎印は委員長 ○は副委員長

<創立70周年記念事業実行委員会名簿>

乾昌弘	(株)明新社	取締役社長
植田英寛	(株)中和商事	代表取締役
梅田貴弘	(株)渋谷	取締役社長

○大浦晃平	(株)中和コンストラクション	取締役社長
上武建一	上武建設(株)	代表取締役副社長
北義彦	(株)南都銀行	取締役専務執行役員
近東宏佳	共同精版印刷(株)	代表取締役社長
阪田文彦	福井水道工業(株)	代表取締役
佐藤典嗣	佐藤木材(株)	取締役社長
鈴木貴宏	(株)みずほ銀行	奈良支店長
角田正之	(株)伸芽教育	代表取締役
田尻忠義	(株)楓工務店	代表取締役
津秦幸生	ホテル日航奈良	総支配人
出口悦弘	ディライト(株)	取締役会長
中村博樹	学校法人ハルナ園	総施設長
◎中村光良	中村建設(株)	代表取締役社長
西垣雅史	西垣林業(株)	取締役副社長
○萩原斗志弘	(株)萩原農場生産研究所	専務取締役
嶋山晴衣	(株)サロンまき	代表取締役
服部亘	(株)服部商事	専務取締役
前川浩二	(株)都市企画設計コンサルタント	代表取締役
松本喜久子	(福)白鳳会西大和保育園	理事長・園長
松本健澄	アルファホーム(株)	代表取締役
水谷豊	(株)あかしや	取締役社長
村島靖基	村島硝子商事(株)	代表取締役
矢澤実穂	(株)リエゾン	代表取締役
山本太治	(株)三輪山本	取締役社長
吉田裕	(株)大和農園ホールディングス	取締役社長

◎印は委員長 ○は副委員長

## 2. 入退会者

### ◎新入会者（9名）

井上富重	大和ハウス工業(株)	奈良支店長 (29.4)
矢澤実穂	(株)リエゾン	代表取締役 (29.4)
高橋直嗣	(株)鶴屋徳満	代表取締役社長 (29.4)
大江隆	三井住友信託銀行(株)	奈良西大寺支店長 (29.4)
高垣一生	近畿日本ツーリスト(株)	奈良支店長 (29.10)
山内民興	社会福祉法人ぶろぼの	理事長 (29.10)
加藤真治	(株)バンビシャス奈良	代表取締役 (29.12)
西田定	旭製粉(株)	代表取締役社長 (30.2)
梅咲直照	桜井ガス(株)	代表取締役社長 (30.3)

### ◎交代入会者（15名）

戸田孝	三井住友海上火災保険(株)	奈良支店長 (29.4)
森田晃弘	(株)ドコモCS関西	奈良支店長 (29.4)
速水秀樹	大阪ガス(株)	奈良地区支配人 (29.4)
松村恵介	大和証券(株)	奈良支店長 (29.4)
川井喜樹	奈良信用金庫	理事長 (29.4)
山浦克久	みずほ証券(株)	奈良支店長 (29.4)
西井康博	(株)西井商店	代表取締役 (29.4)

峯 勤	(株)竹中工務店	奈良営業所長	(29.4)
尾原 謙治	(株)近鉄百貨店	取締役常務執行役員店長	(29.6)
長岡 雅美	奈良テレビ放送(株)	代表取締役社長	(29.6)
西村 昌之	奈良生駒高速鉄道(株)	代表取締役社長	(29.6)
松谷 幸和	奈良県信用保証協会	会長	(29.7)
辻 嘉明	(株)きんでん	執行役員奈良支店長	(29.7)
宮崎 好弘	(株)奈良ホテル	代表取締役社長	(29.7)
平林 隆弥	セコム(株)奈良統轄支社	支社長	(29.10)

◎退会者（12名）

塩澤 克利	明治安田生命保険(相)	奈良支社長	(29.4)
今西 将之 (休会)	今西酒造(株)	代表取締役	(29.5)
西辻 正副	奈良学園大学	総括副学長	(29.6)
真砂 知恵美	プレール	代表	(29.6)
松本 宗明	西奈良中央病院	理事長	(29.6)
田村 健吉	南都ビジネスサービス(株)	代表取締役社長	(29.6)
高木 宏哲	高木会計事務所	代表	(29.6)
山本 浩扶臣	(株)まほろばホールディングス	代表取締役	(29.8)
福井 良盟	宗教法人竹林院	院主	(29.12)
川端 晋介 (休会)	(株)ダイワ	常務取締役	(30.1)
脇本 吉清	ワキ製薬(株)	代表取締役会長	(30.2)
矢澤 実穂	(株)リエゾン	代表取締役	(30.3)

3. 平成29年度末会員数

165名



## IV 資料

### 平成29年度事業計画

#### 奈良経済同友会

企業収益並びに雇用情勢・所得環境の改善が続くなか、各種政策の効果もあって景気は緩やかな回復に向かうことが期待される一方で、海外経済の不確実性の高まりや金融資本市場の変動などもあり景気の下押しリスクが懸念されており、企業の経営環境は不透明感が増す状況となっている。

中小零細企業が大半を占める地域経済は、人口の東京一極集中、少子高齢化の進展、人手不足、産業構造の変化など急激な環境変化に見舞われている。今後、経済のグローバル化や労働力人口減少に伴う雇用確保・人件費上昇、働き方改革への対応などの諸問題を乗り越え、企業の生き残りを図るとともに、地域経済の確かな担い手として独自の戦略と自主・自立の精神でこの大きな時代変化に即応していく必要がある。

われわれ経営者はいつの時代にあっても常に新たな飛躍に向けて、自らが成長の牽引役として、絶えざるイノベーションの創出による競争力の強化、優れた人材とそれを活用するリーダーシップおよびマネジメントのもと、新たな成長を目指し、リスクをとって果敢に挑戦していくことが肝要である。

このような認識のもと、われわれ企業経営者が相互に切磋琢磨しながら、地域の発展を願い、地域の立場に立って考えながら、倫理観の高い経営に心がけ、高い志と時代を見通した先見性と実行力により、新しい時代にふさわしい経営の在り方を追求するために次のように事業計画を策定し、実行する。

#### <事業計画>

##### I 魅力と意義のある「例会」等諸活動の実施

- (1) 「話題の経営者」や「タイムリーなテーマ」での講演会・意見交換会・懇親会の開催。移動例会をも含め最適地での例会の実施
- (2) 企業見学、先進地域の見学と県外経済同友会との交流会の開催
- (3) 若手経営者の交流・研鑽、新入会員勧誘の場としての「フォーラム」の開催
- (4) 会員相互の親睦を広めるため、ゴルフ親睦会など多彩な交流会の実施
- (5) 海外視察研修の実施

##### II 「行政との意見交換会」の実施

社会インフラ整備、地域経済産業振興、医療政策、観光活性化など地域の活性化をテーマに奈良県幹部等との意見交換会の継続的实施

##### III 「研究」「提言」活動

平成29年年頭所感に掲げたテーマ「人口減を食い止める」を基本命題として、奈良県の経済産業活性化に資するため、大学、行政等とも連携しながら、新しく委員会を立ち上げ、調査・研究及び提言活動を行う。

#### IV 「ホームページ」の充実・強化

- (1) 例会、委員会などの事業スケジュール案内及び活動結果報告など会員向け情報提供
- (2) 年頭所感、委員会活動による提言など、対社会向け情報発信力の充実・強化

#### V 同友会の存在価値を高めながら長期的視野にもとづく会員増強

#### VI 「ネットワーク」活動

- (1) 京都・滋賀・奈良3経済同友会で組織する「京滋奈代表者懇談会」への参加・交流
- (2) 滋賀・京都・関西・神戸・和歌山・奈良の「6経済同友会」への参加・交流
- (3) 5府県市（京都府・滋賀県・三重県・奈良県・京都市）、3商工会議所（京都・大津・奈良）、3経済同友会（京都・滋賀・奈良）による「京滋奈三・広域交流圏研究会連絡会議」への参加・交流
- (4) 全国経済同友会セミナー、西日本経済同友会代表者会議、西日本経済同友会会員合同懇談会などへの積極的な参加と大学、関係諸経済団体との連携の強化
- (5) 「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」（奈良女子大学、奈良工業高等専門学校、奈良県立大学）への参画

#### VII 関係諸経済団体との連携のもと、リニア中央新幹線の東京・名古屋・大阪間の早期開通と京奈和自動車道の整備促進

以 上

平成30年1月9日

## 「奈良県の地域活性化ソリューションに取り組む」

奈良経済同友会 平成30年年頭所感

我が国経済はアベノミクスの下、就業者数が増加し20年来最高の雇用状況を生み出した。企業は史上最高水準の経常利益を達成するとともに、設備投資はリーマンショック前の水準に回復するなど、経済の好循環は着実に拡大している。

しかしながら、供給面では長期にわたる生産性の伸び悩み、需要面では新たな需要創造の欠如により民間の動きはいまだ力強さを欠いているのが現状である。人口減少が進むとともに労働力人口が減少しており、人手不足が経営、事業継続の障害となりつつある。

政府では、この長期停滞を打破し中長期的な成長を実現していくため、近年急激に起きているイノベーション（IoT、人工知能（AI）、ロボット、シェアリングエコノミー、フィンテックなど）を、あらゆる産業や社会生活に取り入れることにより解決していこうとしている。

一方、奈良県経済においては我が国のこのような大きな流れの中、リーディング産業が育たず、産業集積の裾野が広がりを欠いていることなどから、雇用・消費両面で、他府県依存の経済構造が続いている。奈良県の地域活性化を考えるにあたっては、人口減少が進行するなか、今後いかに地域の魅力を向上させ、人口減少に歯止めをかけていけるかが問われている。

地元奈良県がこの急速に変化する社会においても発展することを可能とするためには、「県内で働き、県内で消費する経済構造への転換」で自立度の高い奈良県経済を構築することが求められており、我々企業経営者は常に危機感を抱き、変化に機敏に対応できる柔軟さを兼ね備えなければならないと考える。そうすることで経営の健全化を図ることができれば、地域の雇用を増やし自立的な奈良県経済を築いていくことも可能になるといえよう。

平成30年の年頭にあたり、以上のような現状認識及び考えのもと、奈良県の地域活性化の方策（奈良県の地域活性化ソリューション）について、下記に所感を表明する。

なお、本年、奈良経済同友会は創立70周年を迎える。これを機に、企業経営者の視点から、奈良県の地域活性化ソリューションについて、継続的により深く考えていこうと、昨年、2つの委員会（「企業活性化委員会」及び「観光活性化委員会」）を立ち上げた。今後、奈良県等に対し具体的な提言としてとりまとめ発表していく所存である。

## 記

### ○企業活性化のための視点

近年、行政の努力、道路整備の進展などにより、県内の工場立地件数はコンスタントに毎年20~30件台を確保しており、新しい雇用の場の創出にも貢献している。しかしながら、県外就業率（29.9%）は全国1位と高く、それに伴い県外への消費流出も大きい。奈良県経済は依然として他府県への依存度が高いといわなければならない。

企業経営者の視点から、県内で働く人の数を増やし自立度の高い奈良県経済をつくるため

には、まずは県内企業が元気であり、雇用の受け皿としての役割をはたしていかなければならないと考える。そのための方策として、次の2点を挙げたい。

#### (1) 企業の魅力向上

県内で働く人の数を増やすためには、企業(工場)誘致だけでなく、県内企業の魅力向上が不可欠である。近年は「自分がこの仕事をしてどのように成長し、喜びを感じることができるか」を重視する従業員が増えており、県内企業としても、賃金のアップだけでなく、働きがい、仕事の満足度、柔軟な雇用環境などでも従業員に応える企業になっていかなければならないと考える。

深刻な労働力不足が間近に迫るなか、労働生産性の向上、高齢者・女性に優しい就労環境を整えるなど働き方改革を進めることで企業の魅力向上をはかっていきたい。

現在、当会では国の地方創生事業の一環として奈良女子大学をはじめ県内3大学(校)の卒業生を県内企業(事業所)へ就職させることを目的とする事業(COC+)に参画しており、企業の魅力向上をはかることでその成果を高めていきたい。なお、2月には県内3大学(校)の学生を当会会員企業8社へ案内する「3大学(校)合同県内企業見学会」を実施する予定である。

#### (2) 企業経営者の魅力向上

魅力ある企業となるためには、企業経営者自身の魅力向上も欠かせないものとする。 「社長の器が会社を決める」と言われるとおり、我々は企業経営者として、我々自身の魅力を磨くことにも取り組んでいく。時代の変化を機敏に察知し、従来の固定観念にとらわれない経営を実現していきたい。

そうすることが、企業経営力のアップにもつながり、更には地域愛にもつながるものとする。

### ○観光活性化のための視点

平成28年の奈良県の観光客数は4,407万人と、インバウンド増加を追い風に急速に増加している。一方、同年の宿泊観光客は252万人。ここ数年横ばいの状況が続いている。奈良県の観光は日帰り・通過型観光が中心であり、このところのインバウンドの増加も宿泊にはつながっていないといえよう。

経済的な観点からみると、年間4,000万人を上回る観光客を迎えながら、奈良県は日帰り客の5倍以上の消費額といわれる宿泊客を取り込めておらず、機会ロスの大きい観光地であるといわなければならない。歴史文化遺産、自然環境など豊富な観光資源を有しながら、その力を十分に生かし切れていない。

我々は、奈良県活性化のため、奈良県において「泊まる魅力の観光地づくり」を早急に進めなければならないと考える。すなわち、日帰り・通過型観光から滞在・周遊型観光への転換をはかり、宿泊観光客とその観光消費を増やしていく。そのための方策として、次の3点を挙げたい。

#### (1) 宿泊施設、客室を増やす

奈良県は一大観光地でありながら、宿泊施設数、客室数が全国最低水準にある。近年はビジネスホテル等の開業もあり、客室数は増加傾向となっているが、依然全国最下位である。その背景には、オンとオフの入り込み観光客数の差が大きいことのほか、距離的に近

い大阪・京都の宿泊施設へ観光客が流れていることなどがある。いつ来ても楽しめる観光地をめざすことで奈良に泊まる理由をつくるとともに、超高級ホテルからビジネスホテル、町家ゲストハウス、古民家民宿に至るまで幅広い魅力の宿泊施設をそろえ、観光客の宿泊需要を掘り起こし、宿泊施設、客室数の増加につなげていきたい。

## (2) 観光面でのインフラ整備（ハード面、ソフト面）

ハード・ソフト両面でのインフラ整備が必要と考える。

ハード面では、京奈和自動車道の奈良県内でのミッシングリンクを早期に解消することを各方面に強く要望する。奈良観光の活性化を図るためには、観光客を中・南和地区へ誘導することが効果的であると考え。そのためには県南北間の移動時間を短縮し奈良県全体の周遊性を向上させなければならない。京奈和自動車道の未整備区間を早期に完成させることで、奈良の観光魅力を向上させ、観光客の奈良県での滞在時間を増やし県内宿泊につなげていくことが求められる。

一方、ソフト面では、奈良市内だけでなく、明日香村、吉野山はじめ県中南部に広がる観光地、自然資産へのアクセス向上を図るため、例えば、鉄道（JR、近鉄）、バスなどを定額で利用できる1日共通パスをつくるなど、観光客に分かりやすく便利な回遊サービスを提供することで回りやすい観光地奈良を実現していくため、各方面への働きかけを行っていきたい。

## (3) 歴史文化遺産以外の観光魅力を創出する

奈良観光といえば、神社仏閣など歴史文化遺産を巡る旅というイメージが強いが、それ以外の奈良の観光魅力を創出し、奈良を訪れる人を増やすとともに、奈良での宿泊に結びつけていく。

たとえば、奈良のうまいものを町家のレストランなどで「食べる魅力」、自然を感じながら古い町並みや古道を「歩く魅力」、雄大な自然のなか南部の温泉に「泊まる魅力」、美しい自然や地元の人たちとのふれあいを「感じる魅力」など、奈良の優れた特性をうまく生かして、幅広く奥深い魅力を創り出し発信していくことが大切である。

奈良は寺社だけでなく、「多彩な魅力でワクワクする観光地」というイメージを強化し、国内外の観光地間競争に打ち勝ち残っていけるブランドとして育てていく方策を考えていきたい。

さらには、奈良のゆったりとした自然環境、長年にわたる薬草栽培や漢方の蓄積など奈良の特長を生かしたメディカルツーリズムやウェルネスツーリズムの展開の可能性についても研究を重ねていきたい。

以上